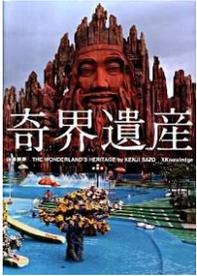


あると通信 ULT 通信

2020.2.20号 / vol.92 発行 / ULT 図書館司書

司書は「読書は役に立つよ～」とお話しすることが多いけれど、ULTの利用はまいち増えません…。
そこで今回は！笑っちゃう本や楽しい本をご紹介します！
“おもしろい”は正義！！



『奇界遺産』
世界遺産ならぬ“奇”界遺産。
世界各地の「なんだこれ?!」「
なんでこんな作った?!」
というものをこれでもかと
集めた写真集。



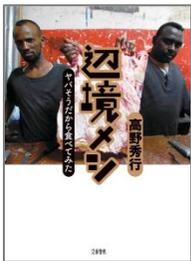
『島の猫』
猫を撮らせたら右に出る
者なし！岩合さんによる
日本の島猫写真集。
猫はかわいい。(語彙力w)



『心霊づきあい』
「視えない」世界が「視える」ひとは、
どんな日々を過ごし、「心霊」とどうつきあっているのだろう？
漫画家 CLAMP や稲川淳二大先生
へのインタビューも。



『文房具図鑑』
文房具好きの小学6年生男子
が書いた(描いた)、オール
手書きの文房具図鑑！細かな
イラストと使い勝手や豆知識
も盛り込んだ解説文。
すごい情報量と熱量！



『辺境メシ』
「ヤバそうだから食べてみた」
ヒキガエルジュース・ラクダ丼・
サルの脳みそ・胎盤餃子…
探検家が世界各地で食べたヤバイ
もの！アマゾンリアル口噛み酒
はアニメとはだいぶ違います…。



『日本まんじゅう紀行』
日本各地のおまんじゅうを紹介
した本。なぜか ULT の隠れ
人気本だったけれど、最近貸出
がないので改めて紹介。

“おもしろい”
から
みてみよう！



『子どもの発想。』
『コロコロコミック』の投稿
コーナーの秀作を集めた本。
「百点以上の0点をとろう！」
がコンセプト。

「Q.バッハにニックネームをつけるなら？
→A.ヘアーポーターン。
…意味はわかんないけど、すこいわかるW



『地球家族』
世界30か国の普通の暮らし』
様々な国の家の中の家具や家財
道具をすべて外に出し、そこに
住む人とともに写真に収めた
写真集。「マリのひと持ちもの
少な！」「日本人もの多すぎ！」
など比べてみるとおもしろい。



『おじさん図鑑』
街で見かけるおじさんたち
をスケッチした本。
「ぼっくりおなかのおじさん」
「2人組のおじさん」など、
そんな観察してどうするの？
と思いつつ、味のあるイラスト
がやみつきに。



『失敗図鑑』
「すごい人ほどダメだった！」
ライト兄弟は「成功にしがみつ
く」。ドストエフスキーは
「ギャンブルにはまる」。
野口英世は「調子にのる」。
…みんな「アチャ〜」の連続
です。失敗こそ人生？

ULT CALENDAR

3月 MARCH

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
						1
2 午前授業	3 期末テスト	4 期末テスト	5 卒業式	6 期末テスト	7 期末テスト	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19 終業式	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

開館 9:00 (3/7は8:00)
閉館 無印…16:00 ○…14:00 △…12:00

★ Reading ★ Marathon ★

50pt

3年 M.W.さん

Jan. 16th

★ Reading ★ Marathon ★

50pt

3年 H.K.さん

Jan. 27th

新着案内

1月の新着は83点です。
一部抜粋で紹介します。

↓小説・よみもの



タイトル	著者	請求記号
ヴェールドマン仮説 [小説]	西尾維新	913.6-ニシ
ストリート・トラッド メンズファッションは温故知新	佐藤誠二郎	593.3-サト
海に沈んだ大陸の謎 最新科学が解き明かす激動の地球史	佐野貴司	455.8-サノ

↓大学に行ったらどんな勉強がしたい?

タイトル	著者	請求記号
ようこそ建築学科へ! 建築的・学生生活のススメ	松田達, 南泰裕, 倉方俊輔, 北川啓介編著	520.7-イカ
農学が世界を救う! 食料・生命・環境をめぐる科学の挑戦	生源寺眞一, 太田寛行, 安田弘法編著	610.1-シヨ
シャガクに訊け! = Ask Sociology! [小説]	大石大	913.6-オオ
高校生からわかる社会科学の基礎知識	酒井峻一	301.2-サカ
文系と理系はなぜ分かれたのか	隠岐さや香	002-オキ



仕事の本→

タイトル	著者	請求記号
知って考えて実践する国際看護 第2版	近藤麻理	492.9-コン
リハビリの思考力を高める100の知識	夏目重厚	494.7-ナツ
放送作家という生き方	村上卓史	699.3-ムラ

コラムdeレ

第92回は高橋が担当です。今回のテーマは「犠牲」ということで、宮沢賢治の『ブドリ』の伝記』を紹介し、自分を犠牲にして他者に尽くす〈自己犠牲〉の物語として語られることの多い作品です。

主人公のブドリは妹のネリと両親の4人暮らし。しかし、凶作による食糧不足で両親を失い、妹とも離れ離れになってしまいます。理不尽な目に遭いつつも、ブドリは働き、たくましく生きていきます。そして、愛読書の作者であり、憧れのクーボー大博士との出会いをきっかけに、イーハトーブ火山局で働き始め、立派な火山局技師へと成長します。ある日、気候の状況から凶作の前触れを感知したブドリたちは、凶作を防ぐ方法を思いつきます。それは、火山を人工的に噴火させ、気候を変えること。ただし、実行するには誰かが最後まで火山に残り、犠牲にならなければいけません。ブドリはその役を買って出ます。凶作によって家族を失ったかつての自分と同じような目に子どもたちを合わせないために。

童話という言葉から抱くほのぼのとしたイメージからは一線を画した作品です。しかし、自らの境遇を跳ね除け、やがては人のために自分の身を犠牲にする覚悟をもつブドリの姿からは、同じ作者の『雨ニモ負ケズ』と同様力強い印象を受けますし、多くの示唆を与えてくれるように思います。

この作品は、宮沢賢治が亡くなる前年に発表された作品です。そのため、彼の人生観や宗教観が反映されていると評する人がいたり、時代背景と関連付けて〈自己犠牲〉を美化しすぎている、という人もいたり評価は様々。〈自己犠牲〉を体現したブドリの生き方は、高校生のみんなにはどう映るのでしょうか。

次回のテーマは「ご当地作家」にします。今回紹介した宮沢賢治は私と同じ岩手県出身。笹木さんの出身地のご当地作家を教えてください。